

平成28年11月 4日

まちづくり委員会資料

請願の審査（視察）

請願第28号

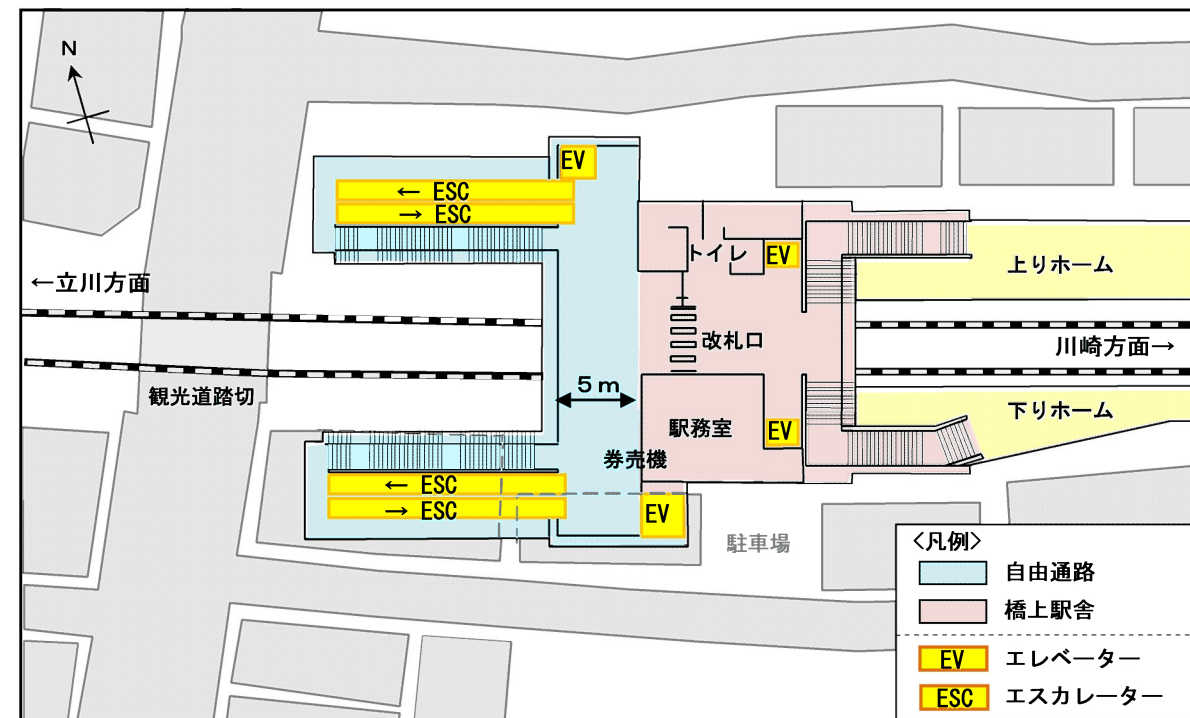
J R南武線稲田堤駅の踏切（観光道踏切）の早期危険解消を求める請願

資料 J R南武線駅アクセス向上等整備事業（稲田堤駅）の取組状況について

まちづくり局

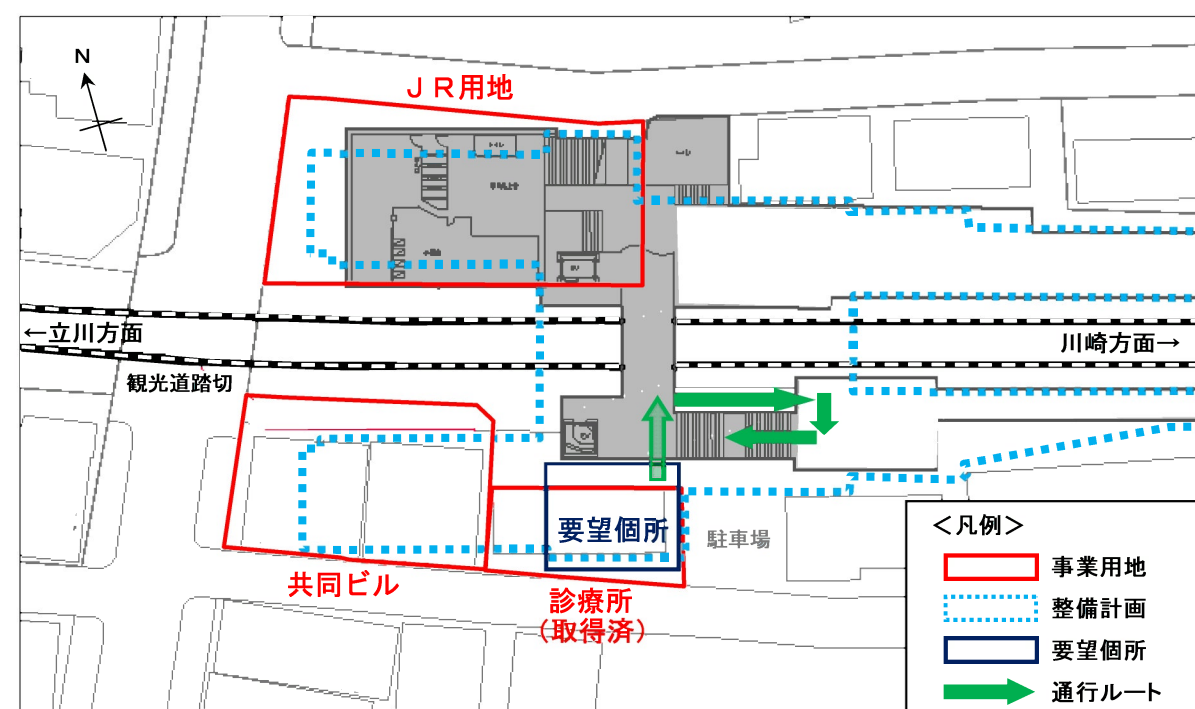
1 整備概要図

橋上駅舎化完成時の駅整備の概要を表示。



2 必要な事業用地の位置

共同ビルの用地取得について協議中



3 今までの取組

- ・平成21年度 「南武線アクセス向上方策案」策定。
- ・その後、関係地権者に対する事業概要説明、事業協力依頼、用地測量を実施。
- ・平成26年 3月 地元説明会（菅小学校）。
当時は、平成26年度工事着手、平成29年度完成と説明。
- ・平成26年 5月 駅デザイン投票を実施。
- ・平成28年10月 町会等からの要望書を受け、地元説明会を開催
- ・用地取得協議については、現在も継続して行っている。

4 地元からの要望書

J R南武線稲田堤駅の踏切（観光道踏切）の早期危険解消を求める要望書

平成28年8月22日 川崎市長へ提出

要 望 者：菅町会会長、稲田堤振興会会長、菅小学校PTA会長

要望の要旨：

- ①駅整備事業の平成26年度3月地元説明会後（約2年間）の経過と今後の取組について説明会の開催を求めます。
- ②駅利用者、踏切横断者の増加による危険増加からの通学路の安全対策並びに橋上 駅舎事業に必要な用地取得に伴う地権者への丁寧な移転補償により早急な駅整備事業の実現を求めます。

5 現状を改善するための検討

○南側暫定改札口の検討

南側の取得用地等を使用して、暫定改札口の設置の検討を行った。

- ・南側の道路に、駅に向かう人が集中した場合、道路幅員が狭い。
- ・階段下には、信号施設等があることから、現状では通行不可。
仮に移設した場合、移設に膨大な費用が必要。
- ・駅利用者の8割が川崎方面ホームを利用するために、多くの方々が、階段横のホームの端を通行しなければならない。エレベーター導線とも輻輳する。
- ・川崎方面ホームに向かうため、幅員3mの連絡跨線橋に人が集中する。

○土地収用法の活用検討

現在行っている任意交渉と並行して、土地収用法活用の検討を行った。

- ・活用するにしても長期間を要することが課題。
- ・手続きとしては県と協議を行い、進めていく。

6 稲田堤駅及び観光道踏切に関するデータ

- ・J R稲田堤駅 乗降客数 51, 286人/日（平成27年度）
- ・京王稲田堤駅 乗降客数 52, 801人/日（平成27年度）
- ・菅小学校の踏切横断児童数 249人/日（平成20年9月調査）
- ・1日あたりの踏切横断者数 28, 392人/日（平成27年）
- ・1日あたりの踏切横断二輪台数 4, 148台/日（平成27年）
- ・1日あたりの踏切横断自動車台数 2, 415台/日（平成27年）